



ドメイン間フェデレーションの設定ワークフロー



(注) IM and Presence Release 9.0 以降では、Microsoft Lync とのドメイン間フェデレーションがサポートされています。また IM and Presence Release 9.0 以降の場合、OCS とのドメイン間フェデレーションへの参照には、別途明示的な指定がない限り、Microsoft Lync が指定されます。

- [Microsoft OCS との SIP フェデレーションに関する設定ワークフロー, 1 ページ](#)
- [Microsoft Lync との SIP フェデレーションに関する設定ワークフロー, 2 ページ](#)
- [AOL との SIP フェデレーションに関する設定ワークフロー, 3 ページ](#)
- [XMPP フェデレーションに関する設定ワークフロー, 4 ページ](#)
- [企業内における Microsoft OCS/Lync との SIP フェデレーションに関する設定ワークフロー, 4 ページ](#)
- [SIP フェデレーションに関する Cisco Adaptive Security Appliance \(ASA\) の設定ワークフロー, 5 ページ](#)

Microsoft OCS との SIP フェデレーションに関する設定ワークフロー

- IM and Presence 上で Microsoft OCS フェデレーション用のフェデレーテッドドメインを設定します。詳細については、[SIP フェデレーテッドドメインの追加](#)を参照してください。
- DNS SRV レコードを設定します。詳細については、[SIP フェデレーションの DNS 設定](#)を参照してください。
- IM and Presence 上で Microsoft OCS フェデレーションのルーティングに関する設定を行います。詳細については、[IM and Presence でのルーティング設定](#)を参照してください。

- (任意) フェデレーション機能用の電子メールアドレスを設定します。詳細については、[フェデレーション用の電子メールアドレスの設定](#)を参照してください。
- IM and Presence 上で TLS セキュリティの設定を行います。詳細については、[IM and Presence でのセキュリティの設定](#)を参照してください。
- Microsoft OCS フェデレーションに関する Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) の設定を行います。詳細については、[SIP フェデレーションに関する Cisco Adaptive Security Appliance \(ASA\) の設定](#)および[Cisco Adaptive Security Appliance \(ASA\) での TLS プロキシの設定](#)を参照してください。
- Microsoft OCS フェデレーションでの証明書交換に関する設定を行います。詳細については、[Cisco Adaptive Security Appliance \(ASA\) による SIP フェデレーションセキュリティ証明書の設定](#)を参照してください。
- Microsoft OCS サーバの設定を行います。詳細については、[SIP フェデレーションに関する外部サーバコンポーネントの設定](#)を参照してください。
- (任意) 冗長性確保のためのロードバランサの設定を行います。詳細については、[冗長性確保のためのロードバランサの設定 \(SIP フェデレーションの場合\)](#)を参照してください。
- Microsoft OCS フェデレーションに関するトラブルシューティング情報については、[SIP フェデレーション統合に関するトラブルシューティング](#)を参照してください。

Microsoft Lync との SIP フェデレーションに関する設定ワークフロー

- IM and Presence 上で Microsoft Lync フェデレーション用のフェデレーテッドドメインを設定します。詳細については、[SIP フェデレーテッドドメインの追加](#)を参照してください。
- DNS SRV レコードを設定します。詳細については、[SIP フェデレーションの DNS 設定](#)を参照してください。
- IM and Presence 上で Microsoft Lync フェデレーションのルーティングに関する設定を行います。詳細については、[IM and Presence でのルーティング設定](#)を参照してください。
- (任意) フェデレーション機能用の電子メールアドレスを設定します。詳細については、[フェデレーション用の電子メールアドレスの設定](#)を参照してください。
- IM and Presence 上で TLS セキュリティの設定を行います。詳細については、[IM and Presence でのセキュリティの設定](#)を参照してください。
- Microsoft Lync フェデレーションに関する Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) の設定を行います。詳細については、[SIP フェデレーションに関する Cisco Adaptive Security Appliance \(ASA\) の設定](#)および[Cisco Adaptive Security Appliance \(ASA\) での TLS プロキシの設定](#)を参照してください。

- Microsoft Lync フェデレーションでの証明書交換に関する設定を行います。詳細については、[TLS フェデレーション用の Lync エッジ サーバでのセキュリティ証明書の設定](#)を参照してください。
- ドメイン間フェデレーションに関する Lync Server 2010 および Edge サーバの設定は、このマニュアルに記載されている OCS についての設定とは異なります。IM and Presence とのドメイン間フェデレーションを行えるよう Lync の企業配置を設定する詳しい方法については、Microsoft のドキュメント (<http://technet.microsoft.com/en-us/library/gg399048.aspx>) を参照してください。

AOL との SIP フェデレーションに関する設定ワークフロー

- AOL ライセンスを設定して AOL フェデレーションを有効にします。詳細については、[AOL フェデレーションのライセンス要件](#)、[AOL ルーティング情報の要件](#)、および [AOL プロビジョニング情報要件](#) を参照してください。
- IM and Presence 上で AOL フェデレーション用のフェデレーテッドドメインを設定します。詳細については、[SIP フェデレーテッドドメインの追加](#)を参照してください。
- DNS SRV レコードを設定します。詳細については、[SIP フェデレーションの DNS 設定](#)を参照してください。DNS を使用しない場合は、次の手順に進んでください。
- AOL フェデレーションのルーティングに関する設定を行います。詳細については、[TLS を使用したスタティック ルートの設定](#)を参照してください。
- (任意) AOL ホステッドドメインのデフォルト フェデレーションルーティングドメインについて確認および設定を行います。詳細については、[AOL フェデレーションに関するルーティング情報の設定](#)を参照してください。
- (任意) フェデレーション機能用の電子メールアドレスを設定します。詳細については、[フェデレーション用の電子メールアドレスの設定](#)を参照してください。
- IM and Presence 上で TLS セキュリティおよびその証明書の設定を行います。詳細については、[IM and Presence でのセキュリティの設定](#)および [Cisco Adaptive Security Appliance \(ASA\) と AOL SIP アクセスゲートウェイの間でのセキュリティ証明書の交換](#)を参照してください。
- AOL に関する Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) の設定を行います。AOL FQDN、サーバポート、およびパブリック IP アドレスに関する詳細については、[AOL SIP Access Gateway](#)を参照してください。
- (任意) 冗長性確保のためのロードバランサの設定を行います。詳細については、[冗長性確保のためのロードバランサの設定 \(SIP フェデレーションの場合\)](#)を参照してください。

XMPP フェデレーションに関する設定ワークフロー



(注) WebEx、IM and Presence、IBM Sametime、および GoogleTalk とのフェデレーションについては、以下のワークフローに従って設定を行ってください。

- XMPP フェデレーションに関する IM and Presence の設定を行います。詳細については、[XMPP フェデレーションに関する IM and Presence の設定](#)を参照してください。
- XMPP フェデレーションのセキュリティに関する設定を行います (GoogleTalk は除く)。詳細については、[XMPP フェデレーションに使用するセキュリティ証明書の設定](#)を参照してください。
- (任意) フェデレーション機能用の電子メールアドレスを設定します。詳細については、[XMPP フェデレーション用の電子メールをオンにするおよびフェデレーション用の電子メールアドレスの設定](#)を参照してください。
- XMPP フェデレーションサービスを有効にします。詳細については、[XMPP フェデレーションサービスをオンにする](#)を参照してください。
- XMPP フェデレーションに関する Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) の設定を行います。詳細については、[XMPP フェデレーション用に Cisco Adaptive Security Appliance を設定する](#)を参照してください。
- XMPP フェデレーションに関するトラブルシューティング情報については、[XMPP フェデレーション統合に関するトラブルシューティング](#)を参照してください。

企業内における Microsoft OCS/Lync との SIP フェデレーションに関する設定ワークフロー

- IM and Presence 上で Microsoft OCS フェデレーション用のフェデレーテッド ドメインを設定します。詳細については、[エンタープライズへの Microsoft OCS ドメインの追加](#)を参照してください。
- Microsoft OCS/Lync とのダイレクト フェデレーションに使用するスタティック ルートを設定します。詳細については、[企業内における Microsoft OCS/Lync とのドメイン間フェデレーションの設定](#)を参照してください。
- (任意) IM and Presence 上で TLS セキュリティおよびその証明書の設定を行います。詳細については、[Microsoft OCS ドメインとのフェデレーションを行うための TLS によるスタティック ルート設定](#)を参照してください。

SIP フェデレーションに関する Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) の設定ワークフロー

- Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) と IM and Presence (Inside インターフェイス) との間の証明書を設定します。詳細については、[IM and Presence と Cisco Adaptive Security Appliance \(ASA\) の間でのセキュリティ証明書交換](#)を参照してください。
- Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) とフェデレーテッドドメイン (outside インターフェイス) との間の証明書を設定します。詳細については、[Microsoft CA を使用した Cisco Adaptive Security Appliance \(ASA\) と Microsoft アクセスエッジ \(外部インターフェイス\) の間でのセキュリティ証明書交換および Cisco Adaptive Security Appliance \(ASA\) と AOL SIP アクセスゲートウェイの間でのセキュリティ証明書の交換](#)を参照してください。
- プライベートからパブリックへのメッセージに関する PAT ルールを設定します。詳細については、[ポートアドレス変換 \(PAT\)](#) を参照してください。
- パブリックからプライベートへのメッセージに関するスタティック PAT を設定します。詳細については、[スタティック PAT コマンドの例](#)を参照してください。
- 必要なアクセスリストを設定します。詳細については、[アクセスリストの設定の要件](#)を参照してください。
- TLS プロキシインスタンスを設定します。詳細については、[TLS プロキシインスタンスの設定](#)を参照してください。
- アクセスリストを TLS プロキシに関連付けます。詳細については、[クラスマップを使用したアクセスリストと TLS プロキシインスタンスの関連付け](#)を参照してください。

